

のり海況速報 第3報 (28-3)

平成28年10月20日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 10/17：内湾(ふさなみ)、10/18：内房北部(ふさなみ)
 関東・東海海況速報(10/5-19)、東京湾口海況図(10/5-19)
 自動観測ブイデータ(10/5-19)、拓南観測データ(10/18)
 モニタリングポスト(10/17：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温は前回(10/3)に比べて約3℃降下し、おおむね21℃台になっています。塩分は前回より回復し、ほぼ28～31台で、中央部の西側から北部ではやや低い状態でした。
- ・内房北部の表層水温も降下し、22℃前後まで下がっています。塩分は32台でした(図1)。
- ・調査ラインの水温・塩分の鉛直分布では、水温は内湾、内房北部とも表層と底層の温度差が小さくなっています。塩分は内湾中央部の水深10m以深でやや成層状態になっています(図2)。
- ・東京湾口への沖合水の流入は少ない模様です。

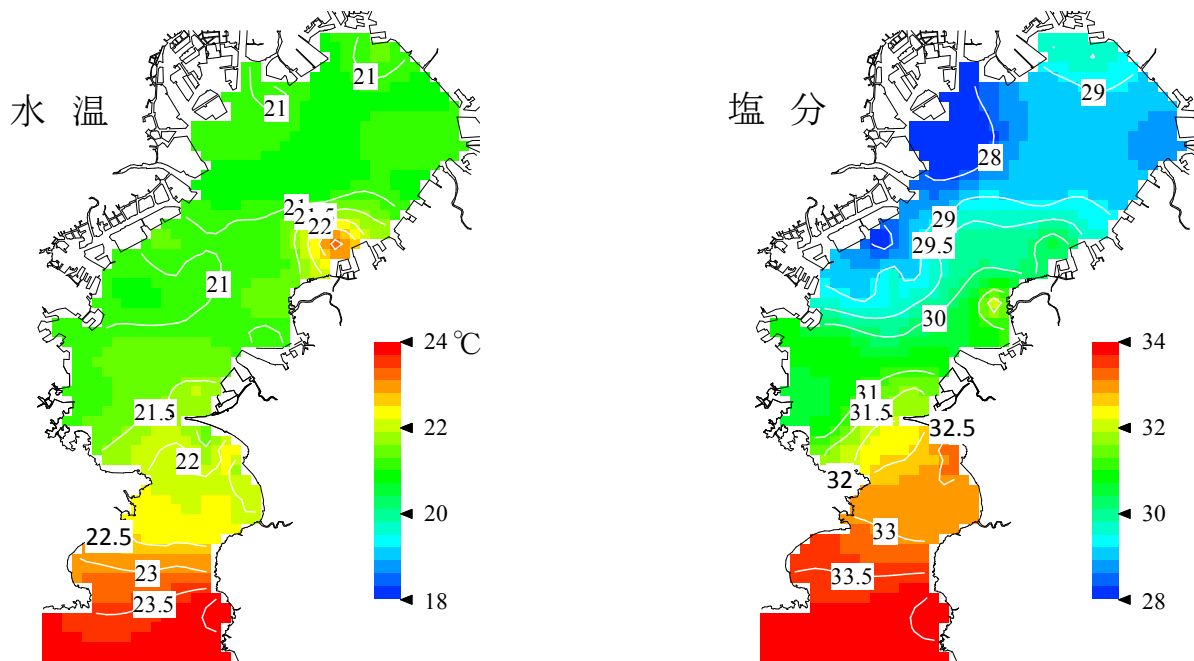


図1 表層の水温・塩分の分布(平成28年10月17-18日)

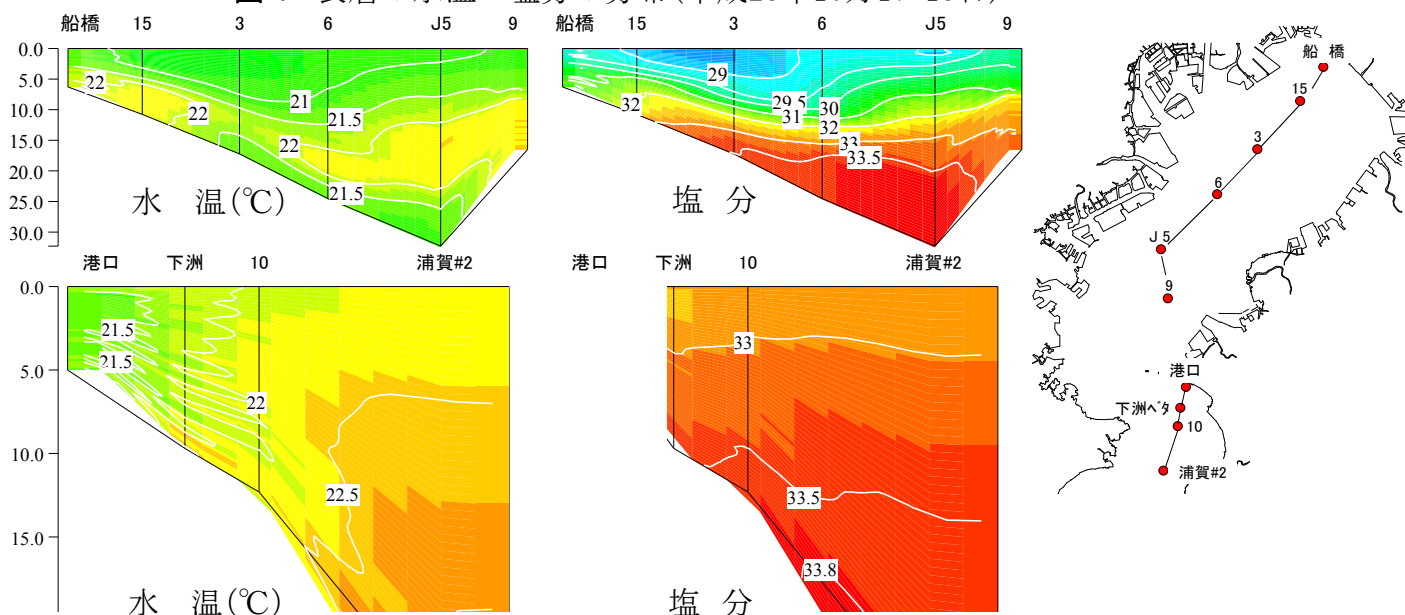


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成28年10月17-18日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- ・赤潮は全域で発生していませんが、千葉北部地区ノリ漁場周辺ではpHが8.4とやや高く、水色もやや褐色を帯びていました。
- ・プランクトンはケイ藻のスケルトネマとシュードニッチアがやや多くみられました。
- ・表層の栄養塩は窒素(DIN)が大貫地先でやや少ないが、窒素(DIN)、リン(DIP)ともほぼ十分あり、ノリ養殖にとって問題ない濃度になっています(図3)。

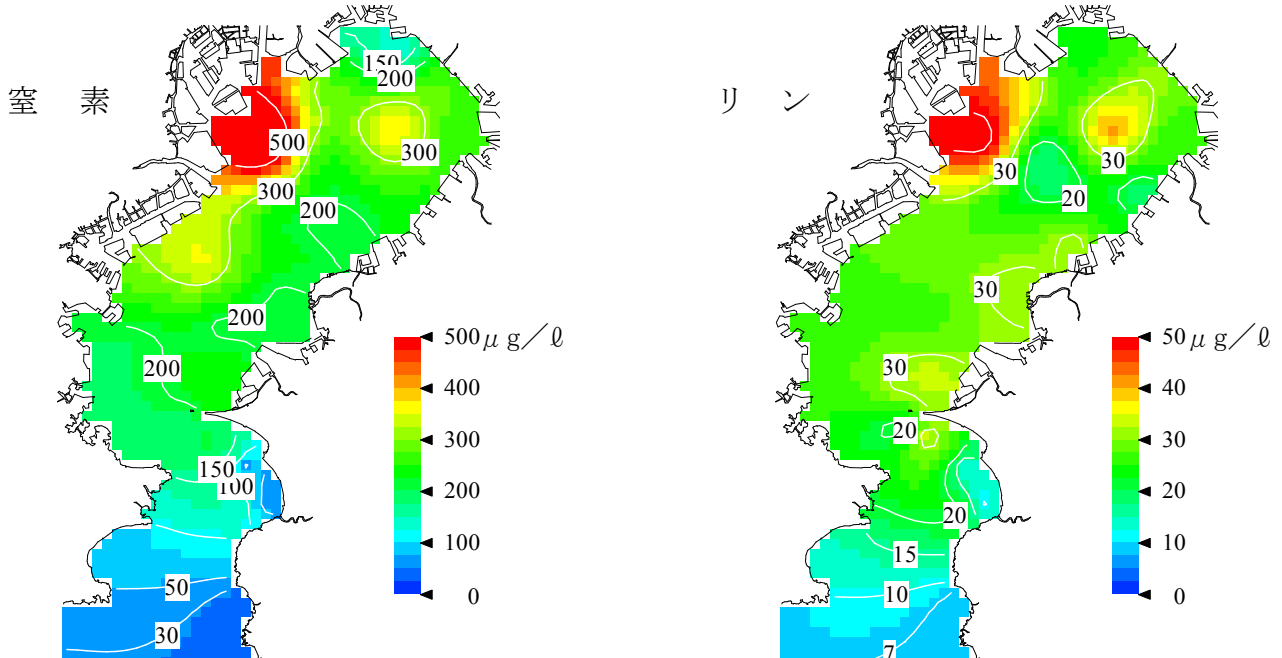


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成28年10月17-18日)

ノリ養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各ノリ養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”ノリ養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html